

## 「八軒家浜」水辺の賑わい創出事業

4期\_中間報告書

都市・地域再生等利用区域において、占用許可を満了し継続する際には、事業の安定性などを確認するために、本審議会において、事業評価を実施している。

今回は、八軒家浜事業がR1年度より10年の許可を受けているが、その中間となる5年後にあたることから、前回の事業評価以降の5年間の取組について、事業評価を行い、事業継続について審議を行う。

#### 《事業評価の視点》

	評価項目
①	地域活性化に資する川を生かしたまちづくりのための利用となっているか
②	水辺の賑わいにつながる提案内容となっているか、集客性はあるか
③	水辺の賑わいのための拠点施設として、連携・ネットワーク等の交流や情報発信は行えているか
④	提案内容の実現性はあるか

## ■主な経過

2007年（平成19年）11月12日	八軒家浜賑わい施設整備等事業の公募開始
2008年（平成20年）3月31日	八軒家浜賑わい施設設計・建設業務 契約締結、事業着手
2009年（平成21年）7月23日	「川の駅はちけんや」の完成
2011年（平成23年）3月4日	「川の駅はちけんや地下1階部分」水辺の賑わい創出事業者の募集開始
2011年（平成23年）5月13日	「川の駅はちけんや地下1階部分」水辺の賑わい創出事業者募集に対する審査委員会の開催
2011年（平成23年）5月16日	<b>中之島水辺協議会 ⇒ 承認</b>
2011年（平成23年）7月15日	<b>都市・地域再生等利用区域 指定</b>
2011年（平成23年）7月24日	水辺の交流拠点「にぎわいXing」（NPO 大阪水上安全協会、大阪水上バス株式会社等によるJV）がオープン
2014年（平成26年）3月24日	<b>大阪府河川水辺の賑わいづくり審議会（事業評価） ⇒ 事業継続妥当</b>
2017年（平成29年）6月13日	<b>大阪府河川水辺の賑わいづくり審議会（事業評価） ⇒ 事業継続妥当</b>
2019年（令和元年）7月8日	1階サービス提供機能部の飲食事業者の契約期間満了に伴い、新たな飲食店事業者が「天下の台所大起水産 八軒家浜まぐろスタジアム」を出店
2020年（令和2年）2月6日	<b>大阪府河川水辺の賑わいづくり審議会（事業評価） ⇒ 事業継続妥当</b>
2024年（令和6年）2月28日	地下1階の情報発信スペースのリニューアル工事の完了
2024年（令和6年）4月1日	レンタル&コミュニティスペース「ステーション8」がオープン

■指定範囲

一級河川 旧淀川（大川）の河川区域内で、下記の図に示す区域。  
（八軒家浜（「川の駅はちけんや」）含む）

■八軒家浜の位置づけ

八軒家浜は、平安時代には渡辺津と呼ばれた港があり、紀州熊野本宮への参詣路である熊野街道の出発点として賑わい、江戸時代には京都伏見と大坂を結ぶ淀川舟運の要衝として栄えた処です。

現在では、水上交通と陸上交通の結節点として八軒家浜船着場の利用船舶も増加し、平成21年に完成した「川の駅はちけんや」は、船着場管理機能、サービス提供機能及び水辺の賑わい創出機能を有した複合的な賑わい施設となっています。

また、川沿いは天満緑道としても位置づけられるとともに、下流部（葎屋橋上流）は、水辺の景観に親しめる空間として、階段式護岸、遊歩道などが整備されています。

こうした経緯を踏まえ、八軒家浜は今後とも水都大阪の拠点として期待される地域です。

■占用の許可を受けられる施設

広場、イベント施設、遊歩道、船着き場、前述に掲げる施設と一体をなす飲食店・売店・オープンカフェ・照明・音響施設・切符売場・案内所、日よけ、その他都市及び地域再生等のために利用する施設

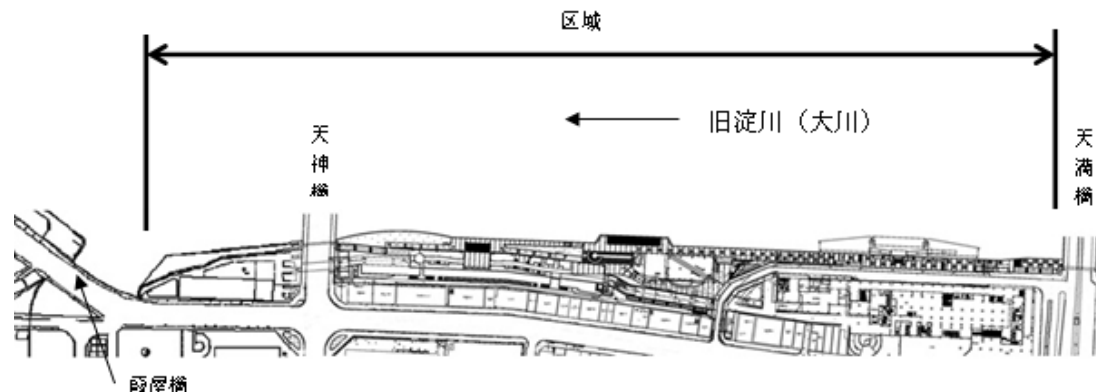
■占用主体

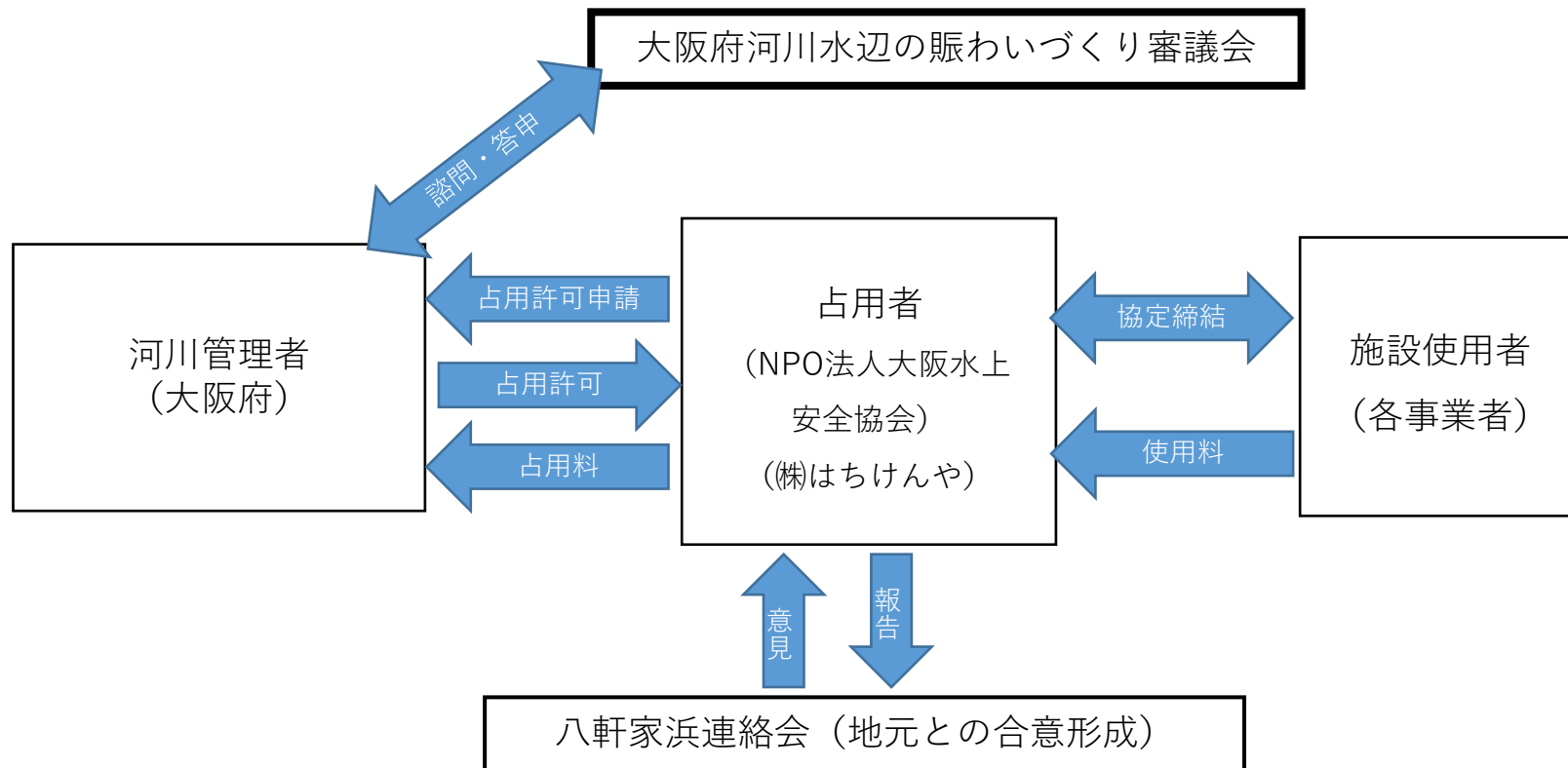
準則第二十二第4項第1号及び第2号に掲げる者第4項第1号及び第2号に掲げる者の他、知事と大阪市長の間で合意を得た場合においては、第3号に掲げる者も認めるものとする。

ただし、「川の駅はちけんや」の占用主体は、船着場管理機能については舟運事業者で構成する団体、サービス提供機能については「川の駅はちけんや」の運営・維持管理者、水辺の賑わい創出機能については準則第二十二第4項第2号に掲げる者とする。

■区域の範囲

当該区域の範囲については、旧淀川（大川）左岸の天満橋～天神橋下流120m（東横堀川分派点）とする。





**八軒家浜連絡会 構成**

- 北大江連合振興町会会長
- 北浜東振興町会会長
- 尼崎信用金庫天満橋支店次長
- みずほ銀行天満橋支店副支店長
- 株式会社はちけんや
- 京阪ホールディング株式会社
- NPO法人大阪水上安全協会
- 「八軒家浜」水辺の賑わい創出事業事務局（大阪水上バス株式会社）
- 大起水産株式会社店長
- 大阪府都市整備推進センター
- 水都大阪コンソーシアム（経済戦略局観光部水辺魅力担当）
- 大阪府都市魅力創造局
- 大阪府河川室河川環境課
- 大阪府立中央高校教頭
- 大阪市中央区役所（魅力推進担当）
- 大阪府西大阪治水事務所

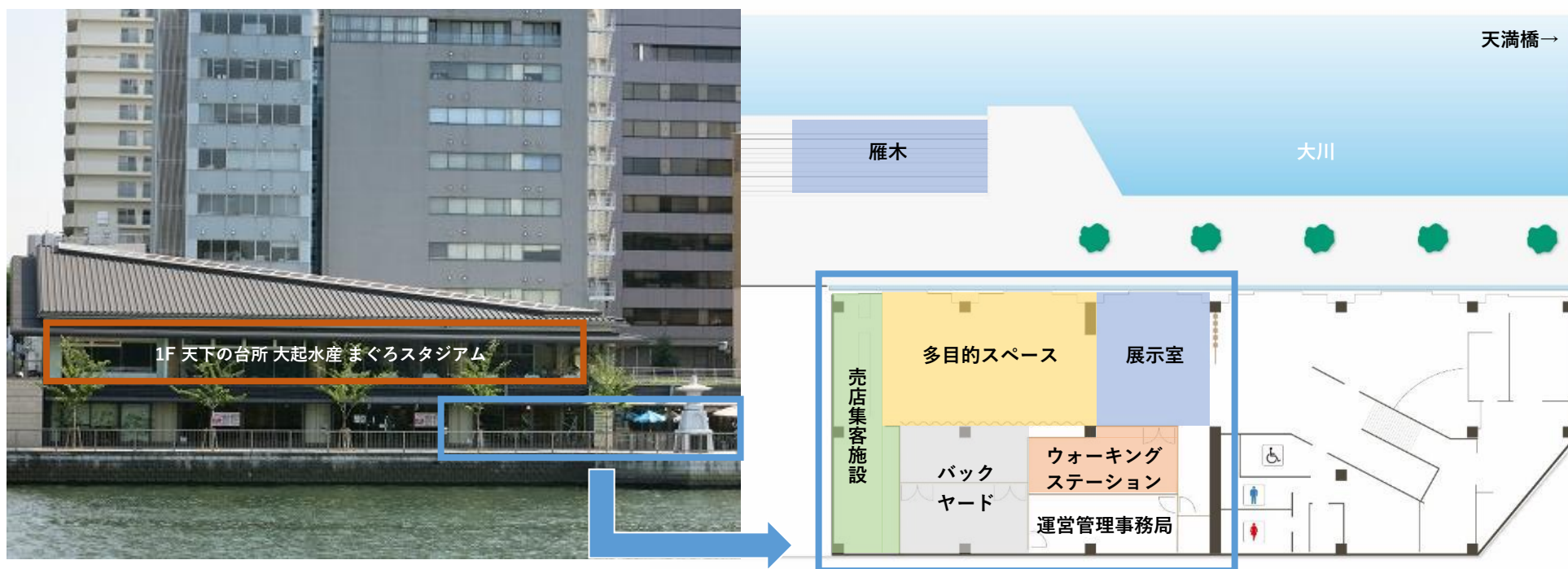
■事業コンセプト■

<川・まち・ひと>の様々な可能性が、あつまり、ひろがることで真の賑わい創出拠点へと深化する「川の駅はちけんや」

大川（旧淀川）沿いの八軒家浜に2009年7月に完成した「川の駅 はちけんや」の地下1階フロアにおける、水辺の賑わい創出事業者として、大阪府と中之島水辺協議会により、にぎわいXing（NPO大阪水上安全協会を主管とするJV）が承認、2011年7月本事業がスタートしました。

本事業は、「川の駅 はちけんや」に、あつまり、ひろがる「空間・時間・機能」をコンセプトに、八軒家浜の歴史・モノ・ヒト・コトが集積し、周辺地域に拡散することで、新たなにぎわい感を創出・発信することを目的とした賑わい活性化事業です。

事業展開として、365日（全日）稼働のキーベースとなる売店集客施設や、常設展示やフォーラム開催などの「情報発信ゾーン」、雁木を活用した水辺アクティビティ、川と陸の結節点という土地を活かしたウォーキング事業などを展開してきました



## ■4期目の事業コンセプト■

**公共空間の活用による更なる価値の顕在化。  
そして近隣地域・団体との連携を強化し、大阪観光の魅力の一つである「水都大阪」を体現する場へと深化。**

2011年の開業以来<川・まち・ひとの様々な可能性が、あつまり、ひろがることで真の賑わいを創出>をコンセプトに活動し、**365日稼働による価値の顕在化と公共空間活用のプラットフォーム機能の明確化**ができたことは、NPO法人大阪水上安全協会を主管とする、川の駅はちけんや事業者の大きな成果と言えます。

単なる商業施設ではなく、**“公共空間”としての機能を維持し**、10年以上に渡り、**行政、地元町会、地元企業・団体と連携して取り組んできた**ことも功績も一つといえます。

4期目（2020年度～2029年度）ではこれらの取り組みをさらに加速、深化させることで、次世代につながる水都大阪の創造の寄与すべく、事業を展開しています。

## ■主な施策概要

## ■水陸交流観光拠点の創出

## ●365日稼働コンテンツの充実

⇒「川の駅はちけんや」の更なる活用による価値の顕在化。事業基盤をより強固にし事業を安定化

## ●天満橋から八軒家への導線形成及び案内機能の強化

⇒ハード面とソフト面による天満橋駅からの導線強化と船着場のターミナル化

## ●水陸交流観光拠点化のためのエリアマネジメント推進

⇒周辺企業、施設との連携を強化し、天満橋エリア一体での観光地運営への基盤づくり

## ●水上ネットワークの繋がりを活用した広域連携による水辺の情報発信を強化

⇒大阪・関西万博の開催に向けて、川でつながる各地域との、舟運を使ったヒト・モノ・コトの連携を強化

## ■防災や安全の強化

## ●災害時のマニュアル更新と防災訓練の実施

⇒「川の駅はちけんや」の災害時マニュアルを更新し、各テナント従業員にまで周知・徹底。水辺の防災訓練を開催（年1回）

「八軒家浜」水辺の賑わい創出事業

---

4期（2020年度～2023年度）報告



## ■2020年～2023年の取り組み■

4期目がスタートして、最初の3年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、施設の閉館や店舗の休業、イベントの中止が相次ぎましたが、「密を避けられる開放的な空間」という**八軒家浜の特性を活かした事業を中心に、川の駅はちけんやの事業者、及び地域の団体・企業と連携して賑わいを創出**。また撮影対応や広告出稿、エリアのSNS運用、観光施設認定なども行い、**八軒家浜の知名度UPにも取り組みました**。

## ■2020年度

事業名	内容	事業主体
まちなか水上ピクニック	丸型のSUPボートを使った水上ピクニック事業	(一社) 日本シティサップ協会
水上自転車	SUPの進化系乗り物「水上自転車」事業	(一社) 日本シティサップ協会
水上こたつピクニック	水上ピクニックにこたつを乗せた冬企画	(一社) 日本シティサップ協会
Yup!Nop!River side dinner	売店集客施設(カフェ機能)をリニューアル	(株) RETOWN
ノルディック・ウォークレンタルポール事業	個人で楽しめるようポールのレンタル事業を開始	(一社) 全日本ノルディック・ウォーク連盟
漂えど沈まず～ラバー・ダック～	コロナ禍での集客を目的としたコンテンツ	水都大阪コンソーシアム
トランチ	屋外でランチを楽しむためのキッチンカー事業	(株) Mellow・NPO大阪水上安全協会
水辺のレストラン	本格的なコース料理を味わう水辺の屋外レストラン	ブルーキッチン&ボトルズ
北大江たそがれコンサート	地元の人気音楽イベントを川の駅からオンライン配信	北大江たそがれコンサート実行委員会
雨展～あらぶる雨・めぐみの雨～	雨にまつわる展示イベント	近畿地方整備局・大阪府
Hi ship! Project～水の都・大阪の防災を知る～	琵琶湖・淀川流域圏の情報発信事業	近畿地方整備局・大阪府
アウトドアヨガ祭り	毎週実施しているリバーサイドヨガの拡大展開	アウトドアヨガ祭り実行委員会
重ね捺しスタンプラリー(春)	周辺の商業施設とコラボしたエリア回遊施策	(株) はちけんや・NPO大阪水上安全協会
重ね捺しスタンプラリー(秋)	周辺の商業施設とコラボしたエリア回遊施策	(株) はちけんや・NPO大阪水上安全協会
天満橋はちけんや部SNS	天満橋・八軒家浜エリアの情報発信用SNSの運用	京阪ホールディングス(株)ほか
水の回廊春爛漫クルーズ	水都大阪の水辺を楽しむ春のイベント	水都大阪コンソーシアム

## ■2021年度

事業名	内容	事業主体
大阪健康ウォーキング	川の駅はちけんやをスタートとしたノルディック・ウォークイベント	(一社) 全日本ノルディック・ウォーク連盟
HALLOWEEN FREE MARKET	低水敷を使った水辺のハロウィンマルシェイベント	(株) RETOWN・NPO大阪水上安全協会
River Side Yoga Night	夏の夜に行うインド音楽と屋外ヨガイベント	生活ヨガ研究所
リバー・ザ・ワンダー・パレード	熱気球（中之島）や水の回廊クルーズのイベント	水都大阪コンソーシアム
水辺のレストラン	本格的なコース料理を味わう水辺の屋外レストラン	ブルーキッチン&ボトルズ
北大江たそがれコンサート	地元の人気音楽イベントを川の駅からオンライン配信	北大江たそがれコンサート実行委員会
ドラゴンボート大会	ドラゴンボートの国際選手権	(一社) 日本ドラゴンボート協会
成世昌平MV撮影	歌手 成世昌平の新曲「三十石船哀歌」のMV撮影協力	(株) ハブ・マーシー
FESTART 広告掲載	水辺のギャラリー巡りイベントのARTMAPへの広告出稿	フェスタアート実行員会
電気船社会実験・記者会見	電気船の社会実験実施、及び記者会見の開催	関西電力(株)
NHKドラマ撮影	「ペットにドはまりして会社辞めました」のロケ撮影	NHK大阪拠点放送局
中央区水辺の魅力発見ツアー	水辺の魅力を発信するクルーズとセミナーのイベント	中央区区役所
雨展～あらぶる雨・めぐみの雨～	雨にまつわる展示イベント	近畿地方整備局・大阪府
Hi ship! Project～水辺の防災・はじめの一步展～	琵琶湖・淀川流域圏の情報発信事業	近畿地方整備局・大阪府
はちけんやお花見フェスタ	春の訪れを祝い、楽しむ恒例イベント	(株) はちけんや・NPO大阪水上安全協会
重ね捺しスタンプラリー（春）	周辺の商業施設とコラボしたエリア回遊施策	(株) はちけんや・NPO大阪水上安全協会

## ■2022年度

事業名	内容	事業主体
大阪健康ウォーキング	中之島をスタートとしたノルディック・ウォークイベント	(一社) 全日本ノルディック・ウォーク連盟
Xmasウォーク	煌めく中之島を歩くナイトノルディック・ウォーク	(一社) 全日本ノルディック・ウォーク連盟
滋賀県女性農家支援会	滋賀県で活動する女性農家さんのPRイベント	滋賀県・(一社) 全日本ノルディック・ウォーク連盟
味噌づくりワークショップ	手作り味噌づくりのワークショップイベント	生活ヨガ研究所
River Side Yoga Night	夏の夜に行うインド音楽と屋外ヨガイベント	生活ヨガ研究所
Yup!Nop!利き酒イベント	売店集客施設を使った日本酒のイベント	(株) RETOWN
なにわの水辺百景	江戸時代と現代の大阪をリンクさせたエンタメイベント	水都大阪コンソーシアム
水辺を語る会	水都大阪を語るトークイベント	水都大阪コンソーシアム
U-me café&もりまちえんコラボイベント	高水敷の花壇を使った親子向け植物鑑賞イベント	(一社) U-me・もりまちえん
はぐくみマルシェ	八軒家浜で親子が楽しめるためのイベント	水辺はぐくみプロジェクト
アウトドアヨガ祭り	毎週実施しているリバーサイドヨガの拡大展開	アウトドアヨガ祭り実行委員会
プライドクルーズ大阪	LGBTQ支援センターのオープン記念イベント	NPO虹色ダイバーシティ
あべの吹奏楽団秋の演奏会	阿倍野区で活動する吹奏楽団の演奏会	あべの吹奏楽団
フォークダンス教室	フォークダンスイベント	市村フォークダンス教室
水辺のレストラン	本格的なコース料理を味わう水辺の屋外レストラン	ブルーキッチン&ボトルズ
北大江たそがれコンサート	地元の人気音楽イベントを川の駅からオンライン配信	北大江たそがれコンサート実行委員会
良縁列車で繋ぐ！デートin国宝・石清水八幡宮	八軒家浜がスタート地点の電車婚活イベント	京阪電気鉄道株式会社

## ■2022年度

事業名	内容	事業主体
川の日写真コンテスト表彰式	7/7の川の日に合わせた写真コンテストの表彰式	大阪府
淀川舟運検討委員会会議	淀川舟運の活性化に向けた検討委員会の会議	近畿運輸局
雨展～あらぶる雨・めぐみの雨～	雨にまつわる展示イベント	近畿地方整備局・大阪府
Hi ship! Project～水辺のみどころ紹介展～	琵琶湖・淀川流域圏の情報発信事業	近畿地方整備局・大阪府
はちけんやお花見フェスタ	春の訪れを祝い、楽しむ恒例イベント	(株)はちけんや・NPO大阪水上安全協会
だんだん8 ※1	大階段に人工芝生をひいた憩いの広場づくり企画	(株)はちけんや・NPO大阪水上安全協会
淀川浪漫紀行&熊野街道ウォーク1泊2日ツアー ※2	枚方～八軒家浜までの淀川舟運と、熊野街道ウォークを組み合わせた旅行企画	(株)はちけんや・NPO大阪水上安全協会
はちけんや紅葉フェスタ ※2	水辺の紅葉を楽しむ秋のイベント	(株)はちけんや・NPO大阪水上安全協会
JNTO認定外国人観光案内所（パートナー施設）	日本政府観光局認定の観光案内所として登録	NPO大阪水上安全協会

※1 川の駅はちけんや横の大階段に人工芝生を敷いて、**日常的に人が集える広場整備事業として展開**。  
設置の際は、大阪府と協議の上、川や船から見える景観を意識しました。（2022年度～2024年度まで継続展開中）

※2 観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」補助金事業として展開

## ■2023年度

事業名	内容	事業主体
River Side Yoga Night	夏の夜に行うインド音楽と屋外ヨガイベント	生活ヨガ研究所
夏休み！カブトムシ・クワガタ体験！	子ども向けの昆虫イベント	大阪ダックツアー
水辺のSDGsスクール	水都大阪の生き物や海ゴミについて学ぶイベント	水都大阪コンソーシアム
中之島まんぷくクルーズ祭	世界の料理を楽しみながら中之島を巡るイベント	水都大阪コンソーシアム
はぐくみマルシェ	八軒家浜で親子が楽しめるためのイベント	水辺はぐくみプロジェクト
もりまちえん交流会	親子向け自然学習「もりまちえん」に関するセミナー	もりまちえん
アウトドアヨガ祭り	毎週実施しているリバーサイドヨガの拡大展開	アウトドアヨガ祭り実行委員会
プライドクルーズ大阪	LGBTQへの理解を深める啓発イベント	NPO虹色ダイバーシティ
虹色ダイバーシティ交流会	LGBTQ支援センターの交流イベント	NPO虹色ダイバーシティ
天神祭	日本三大祭 天神祭	大阪天満宮
目の愛護デードローンショー	目の愛護デーの啓発活動としてドローンショーを初開催	ロート製薬（株）
令和OSAKA天の川伝説	大川にいのり星®を浮かべて天の川を作るイベント	（一社）おしてるなにわ
海の日写真・絵画コンクール受賞作品展	海の日啓発を目的としたパネル展	（公財）近畿海事広報協会
水辺のレストラン	本格的なコース料理を味わう水辺の屋外レストラン	ブルーキッチン&ボトルズ
北大江たそがれコンサート	地元の人気音楽イベントを川の駅からオンライン配信	北大江たそがれコンサート実行委員会
川の日写真コンテスト表彰式	7/7の川の日に合わせて写真コンテストの表彰式	大阪府
水辺で学ぶ気象キャスターのお天気防災講座	「雨展」の一環とした天気と防災を学ぶセミナー	近畿地方整備局・大阪府
雨展～あらぶる雨・めぐみの雨～	雨にまつわる展示イベント	近畿地方整備局・大阪府
Hi ship! Project～水都大阪のちょっと先の未来展～	琵琶湖・淀川流域圏の情報発信事業	近畿地方整備局・大阪府
はちけんやお花見フェスタ	春の訪れを祝い、楽しむ恒例イベント	（株）はちけんや・NPO大阪水上安全協会



トランチ



はちけんやお花見  
フェスタ（川開き）



水上自転車



北大江たそがれコンサート



あべの吹奏楽団  
秋の演奏会



Hi ship!project



海の日写真作品展



プライドクルーズ  
大阪



水上自転車



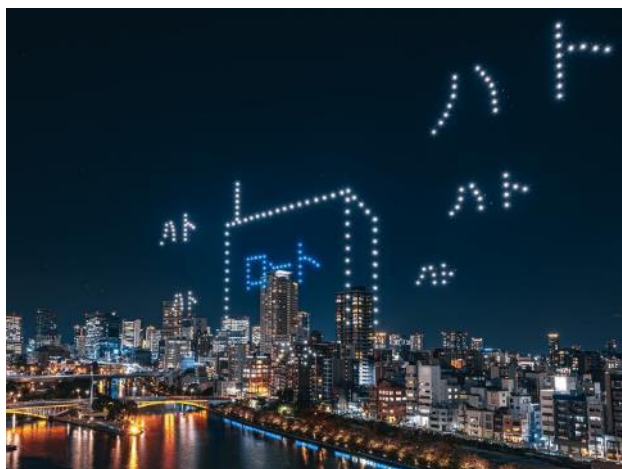
水上ピクニック



雨展



アウトドアヨガ祭り



目の愛護デードローンショー



Hi ship!project



熊野街道ツアー



はぐくみマルシェ



水辺のレストラン



だんだん8（広場整備事業）

「八軒家浜」水辺の賑わい創出事業

---

4期目（2024年度）の報告

■コロナ禍を経て、「川の駅はちけんや」に今求められているもの■

コロナ禍を経て、開放的な水辺空間の魅力が広まり、**利用者の水辺環境への興味関心も高まりました。**  
 また、**2025年大阪・関西万博に向けて、新たな技術、新たな事業者が登場し、未来社会に向けた水辺の取り組みも行われる**ようになっています。  
 地域住民や企業・団体、行政、そして新たな仲間たちと共に、4期目のコンセプトである「公共空間の価値の顕在化と水都大阪を体現する場」の実現に向けて、飲食やアクティビティといった従来の賑わいづくりの枠を超えた、水都大阪の成熟期における賑わい施設運営を展開する必要があります。

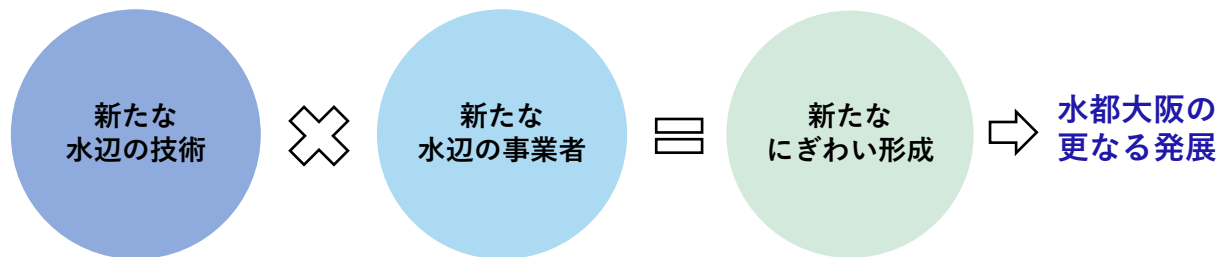
水都大阪の成熟期の事業運営、そしてベイエリア（2025年大阪・関西万博から続くその先の未来）との連携強化



＜これらのニーズと機運に応えながら、主要施策（水陸交流観光拠点の創出と防災や安全の強化）を実現するために＞

新たな好循環を生み出す場

『ステーション8』を2024年3月より展開





<目指すイメージ図>



パース作成：2023年12月

●施設内の再整備（ステーション8の展開）

⇒ 飲食店の退店を契機に、開業当初より掲げてきた365日稼働を継続しながら、**現状のニーズに沿う形に施設内の区画割りを変更**しました。  
 区画を検討する際は、●行政機関との関係強化 ●地域住民の利用促進 ●新たな賑わい交流を念頭に、大阪府と協議の上決定しました。

【リバーラボラトリースペース】

雁木や八軒家浜船着場を、2025年大阪・関西万博に向けた次世代型舟運の実験場として活用を目指す  
 （実施に向け調整中の取り組み）  
 3Dプリンタ船、海床ロボット、タクシースイバー、ドローンショー



海床ロボット  
 (出典：竹中工務店HP)



電気船社会実験の様子  
 (2022年1/27実施)

【水辺のインフォメーションスペース】

水辺の情報発信施設「川の駅はちけんや」本来の機能を強化すべく、大阪府と連携して、治水、防災、安全運航等に関する情報を年間を通して、発信する。

\*将来的には、治水施設を見学するインフラツーリズムや担当者による解説イベントなどを展開できる場にまで発展させたい。



【レンタル&コミュニティスペース】

地域住民・団体からのニーズに応じて、水辺の”使える場所”を新設。  
 単なる場所貸しではなく、ロケーションを活かした事業を展開する。  
 ※2024年度の実績は次頁参照



## ■ レンタルコミュニティスペース利用実績（2024年4月～11月）

事業名	内容	事業主体
水辺のSDGs	大阪工業大学+Karts（韓国国立芸術大学）との産学連携事業	大阪工業大学+Karts（韓国国立芸術大学）・大阪水上バス（株）
淀川についての講座	関西大学の淀川調査ゼミの授業	関西大学・大阪水上バス（株）
プライドクルーズ大阪	LGBTQへの理解を深める啓発イベント	NPO虹色ダイバーシティ
プライドセンター大阪報告会	LGBTQ支援センターの事業報告会	NPO虹色ダイバーシティ
川の日写真コンテスト表彰式	7/7の川の日に合わせた写真コンテストの表彰式	大阪府
第116回天満橋・八軒家浜活性化に関する連絡会議	天満橋エリアの京阪グループ各社による情報交換会議	京阪ホールディングス（株）
特別展「朝鮮通信使と船」講演会&シンポジウム	淀川を渡った朝鮮通信使と船についての講演会	水都大阪を考える会
京阪ホールディングス新入社員研修	京阪HDの新入社員に向けた八軒家浜に関する研修	京阪ホールディングス（株）・大阪水上バス（株）
令和OSAKA天の川伝説	イベント開催時のVIP客レセプション会場	（一社）おしてるなにわ
耳の聞こえにくい方へのヨガ教室	耳が聞こえにくい方に向けたヨガ教室	アウトドアヨガ祭り実行委員会
Green Hospital Project 茶話会	病院や福祉施設の庭に関心のある方たちの交流会	（一社）アウトドアコミュニケーション
CCC懇親会	ゴスペルワークショップグループのイベント	Un cercle&CCC
まちコーディネーター養成講座発表会	商店街活性化に取り組む人材育成講座の発表会	（株）ナゴノダナバンク
淀川舟運検討委員会会議	淀川舟運の活性化に向けた検討委員会の会議	（株）JTBコミュニケーションデザイン
第12回天満・天神阿波踊り	天神橋筋商店街で毎年開催している阿波踊りイベント	京阪ホールディングス（株）
ぼーっとする大会	韓国で話題となった約60分間ぼーっとするだけの大会	（株）TRYBE
ROCA~大人の縁日~	音楽とマルシェで心地よい空間を提供するイベント	（株）51
共生マガジン「INCL」公開記念イベント	10/6の脳性まひの日に合わせたオウンドメディア発表イベント	NPOサードプレイス

■ レンタルコミュニティスペース利用実績（2024年4月～11月）

事業名	内容	事業主体
スマート水都勉強会	「スマート水都」実現に向けた意見交換ワークショップ	水都大阪コンソーシアム
秋の水都大阪ウィーク 水の都パビリオン	かるた大会、浪曲、落語、講談の講演会	水都大阪コンソーシアム
スマート水都フォーラム	水辺のイノベーションフォーラム	水都大阪コンソーシアム
UTAKAI	平尾昌晃ミュージックスクールの歌会	HMS大阪

総利用件数： **22件**

※上記以外にも、水辺の活性化や舟運事業、賑わい創出に関する各種打ち合わせにて随時活用しています。



「朝鮮通信使と船」  
講演会&シンポジウム



耳の聞こえにくい方への  
ヨガ教室



Green Hospital  
Project 茶話会



プライドクルーズ大阪



共生マガジン「INCL」  
公開記念イベント



水辺のSDGs  
大阪工業大学+Karts  
(韓国国立芸術大学)



ぼーっとする大会



第32回大阪港カッター  
レース説明会/抽選会



秋の水都大阪ウィーク  
水の都パビリオン

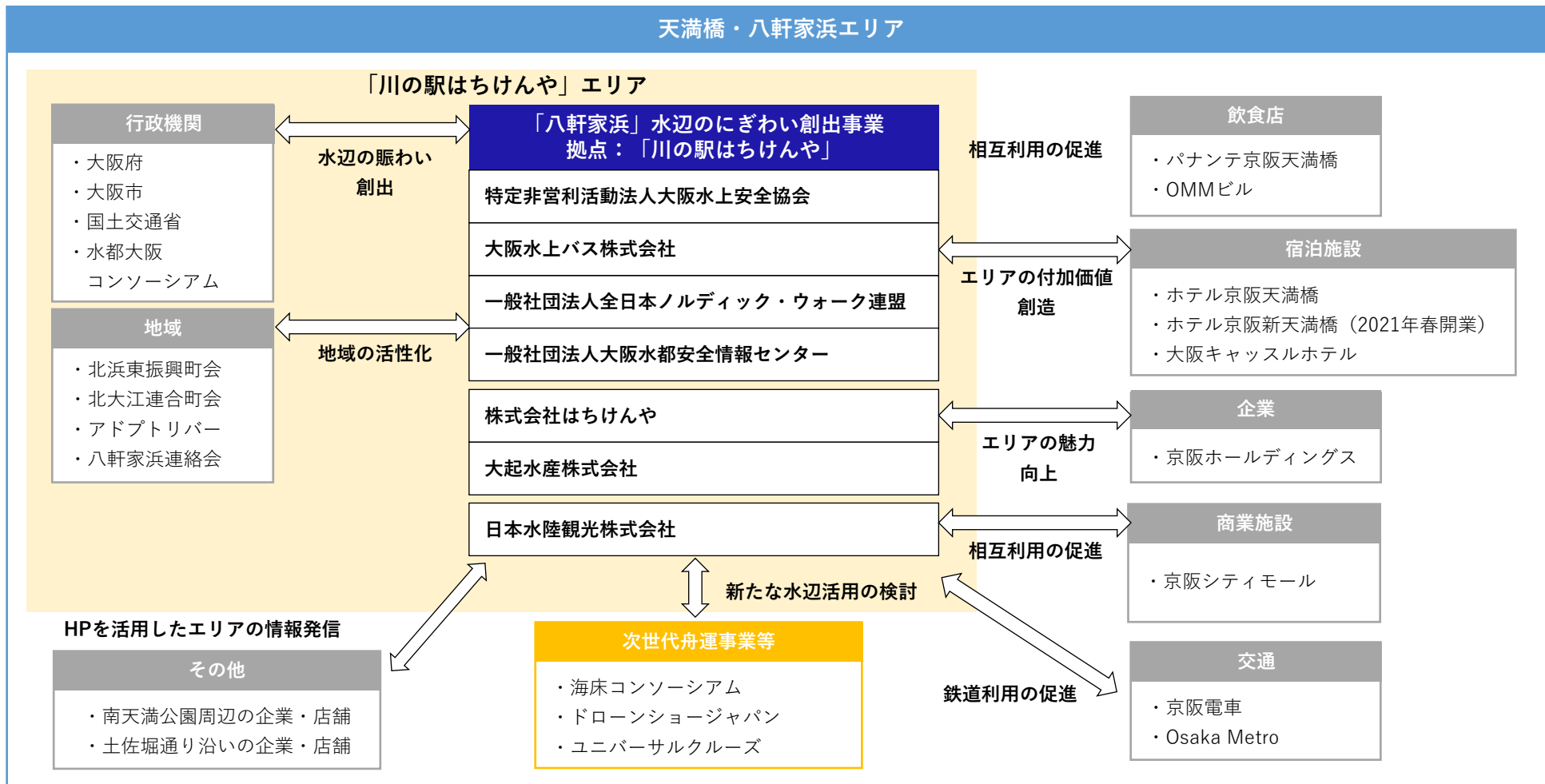


まちコーディネーター  
養成講座発表会

●新たなパートナー形成

⇒水上事業のコンサルタントやドローンショーの推進、3Dプリンタ船や水上交通アプリ開発に取り組む「一般社団法人大阪水都安全情報センター」を新たなメンバーに迎え、未来社会の実現に向けた次世代型舟運の取り組みの検討を始めました。

また過去13年間の間に構築した関係性をさらに深め、天満橋・八軒家浜エリア一体となって水陸交流観光拠点へと進化させる、観光地運営への基盤づくりを強化しました。



●災害時のマニュアル更新

⇒ 大阪府の指導のもと、「川の駅はちけんや」全体の災害時マニュアル更新し、各テナントに周知しました。  
 また、毎年実施している「Hi ship!project」では、船を使った物資の輸送デモンストレーションや防災施設見学ツアーなども開催しました。



▲「川の駅はちけんや」安全対策マニュアル  
 施設の特性や想定される災害、避難のタイミング、災害発生時の対応、  
 連絡手段や情報収集の方法を記載。



▲Hi ship!projectの事業を通して、  
 防災に関する情報を発信  
 (2020年と2021年度に実施)



「八軒家浜」水辺の賑わい創出事業

---

次年度以降の取り組み



■2025年度～2029年度までの取り組み■

4期目期首に掲げた主要施策に基づいて、今後も事業を展開する。

●365日稼働コンテンツの充実

- ⇒ 2024年度より取り組んでいるステーション8の利用促進
  - ・ レンタルコミュニティスペースの利用促進・・・活用事例配信による広報活動の強化、及び主催イベントの定期開催（12/1パン祭開催予定）、八軒家浜で開催されるイベントとの連携強化、無料開放日の設定
  - ・ 水辺のインフォメーションスペースの活用・・・大阪府などが運営する水辺の資料館、博物館等との連携し、魅力的な企画展を誘致
  - ・ リバーラボラトリーの活用・・・・・・・・・・大阪水上安全協会、及び大阪水上バスにて取り組む万博に向けた次世代型舟運の実証実験の実施検討

●天満橋から八軒家への導線形成及び案内機能の強化

- ⇒ 京阪電車 天満橋駅改札前にある大阪水上バスのチケット売り場スタッフを「水辺の案内人」として育成。  
船着場の待合所として川の駅を活用（アナウンス、船の運航スケジュール掲出など）

●水陸交流観光拠点化のためのエリアマネジメント推進

- ⇒ 日常的に連携できる仕組みづくりや観光商品の造成・販売を実施

●水上ネットワークの繋がりを活用した広域連携による水辺の情報発信を強化

- ⇒ 2025年大阪・関西万博開催にあわせて、中之島GATEやベイエリアとの連携を強化  
他の賑わい施設（準則特区）との連携強化  
森ノ宮にできる大阪公立大学 森ノ宮キャンパスと大阪城港、八軒家浜船着場間の船舶運航の実験

●災害時のマニュアル更新と防災訓練の実施

- ⇒ 防災マニュアルを適宜更新  
施設内での防災訓練（避難訓練、救護訓練など）の実施

単位：人

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 ※1
全日本ノルディック・ウォーク連盟	2,162	2,155	2,752	2,243	1,278
Yup!Nop! RIVER SIDE DINNER ※2	7,879	3,745	5,097	-	-
日本シティサップ協会※3	3,843	1,840	1,192	1,359	-
大阪水都安全情報センター ※4	-	-	-	-	158
レンタル&コミュニティスペース ※4	-	-	-	-	1,667
リバーサイドヨガ	714	482	218	250	158
展示室	102,584	85,010	77,750	110,753	67,894
(主催事業) 催事イベント※5	1,877	16,359	17,886	26,025	18,552
<b>(主催事業) 合計</b>	<b>119,059</b>	<b>109,591</b>	<b>104,895</b>	<b>140,630</b>	<b>89,707</b>
日本水陸観光	7,144	7,745	19,233	24,474	13,381
大起水産 八軒家浜まぐろスタジアム	40,869 ※7	43,061 ※8	61,335	73,159	39,019
(提案事業) 催事イベント※6	104,151	113	1,365	60,167	61,600
<b>総合計（八軒家浜全体）</b>	<b>271,223</b>	<b>160,510</b>	<b>186,828</b>	<b>298,430</b>	<b>203,707</b>

※1 2024年度は4月～9月まで ※2 2022年度を以て閉店 ※3 2023年度を以て閉店 ※4 2024年度より新加入 ※5 当協会主催、運営のイベントを計上 ※6 当協会以外が主催するイベントを計上  
 ※7 5月、2月を除く10か月分 ※8 5月を除く11か月分

確認事項	現在（R2～R6）の取組状況、今後の取組計画
①地域活性化に資する川を生かしたまちづくりのための利用となっているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>八軒家浜は、365日（全日）稼動となる売店集客施設や、常設展示やフォーラムなどの開催、川と陸の結節点という土地を活かしたウォーキング事業など、八軒家浜の特性を活かした事業を中心に川を生かしたイベントを、周辺企業や施設と連携しながら展開することで、2011年より10年以上にわたり継続的な水辺におけるにぎわいの創出により地域活性化に繋げている。</li> <li>コロナ禍に伴い店舗の休業、イベントの中止等が相次いだことで、イベント件数に落ち込みはあったが、屋外ヨガイベントや水辺のレストランなど、「密を避けられる開放的な空間」という八軒家浜の特性を活かした事業を中心に、事業者、地域の団体、企業と連携して賑わいの創出を行った。</li> <li>コロナ後の令和6年度には、過年度のコロナ禍による飲食店の退店を契機に、地域住民・周辺団体からのニーズに応じて、水辺の“使える場所”として「ステーション8」新設。水辺に近いというロケーションを活かした事業を展開中。</li> </ul>
②水辺の賑わいにつながる提案内容となっているか、集客性はあるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍に伴う店舗の休業やイベントの中止等により、利用者実績は、令和3年、令和4年は例年に比べて少ない結果となったが、屋外ヨガイベントや水辺のレストランなど、「密を避けられる開放的な空間」という八軒家浜の特性を活かした事業を中心に、事業者、地域の団体、企業と連携して賑わいの創出を行った。</li> <li>コロナ後は回復傾向にあり、今後は、今年度新設したステーション8の活用や、海床ロボットやドローンショーなど万博に向けた次世代型舟運の実証実験の場としての活用の検討など、更なる賑わい創出に向けて事業を展開予定。</li> </ul>
③水辺の賑わいのための拠点施設として、連携・ネットワーク等の交流や情報発信は行えているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>水辺のインフォメーションスペースでは、治水、防災、安全運航等の「水都大阪」を中心とした情報を年間を通して発信している。</li> <li>イベント実施に際しては、撮影対応や広告出稿、エリアのSNSの運用、観光施設への認定なども行い、八軒家浜のPRに取り組んでいる。</li> </ul>
④提案内容の実現性はあるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺企業や施設と連携したイベントの実施や、水上ネットワークの繋がりを活用した流域全体の情報発信、飲食店による水辺利用者への利便サービスを実施中。</li> <li>コロナ禍により店舗の休業やイベントの中止等も相次いだことからイベント開催件数や利用実績に落ち込みはあったが、「密を避けられる開放的な空間」という八軒家浜の特性を活かした事業を中心に、事業者、地域の団体、企業と連携して賑わいを創出した。</li> <li>水辺に近いというロケーションを生かしたイベントの実施や、計画内容の見直しを行い、ステーション8の新設や、万博に向けた次世代型舟運の実証実験の場としての活用の検討など、更なる賑わい創出に向けて事業を展開予定。</li> </ul>

